



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ



Team Wakayama News

【第46号①:令和元年10月5日発行】



和歌山県選手団が活躍!



本県選手団は、レスリング競技、セーリング競技、馬術競技、ボウリング競技での優勝をはじめ、大いに健闘しています。

茨城国体もいよいよ終盤戦に入ります。これから競技が始まる選手の皆さんも、目標達成に向け自信と誇りを持って試合に臨んでください。頑張ろう! チーム和歌山!!

入賞おめでとうございます!!

● レスリング競技

成年男子	グレコローマンスタイル87kg級	阪部創選手(自衛隊体育学校)	1位	8点
	グレコローマンスタイル130kg級	谷田昇大選手(和歌山県教育庁)	1位	8点
少年男子	グレコローマンスタイル60kg級	谷口虎徹選手(和歌山北高等学校3年)	3位	5.5点
	グレコローマンスタイル55kg級	森靖仁選手(和歌山北高等学校2年)	5位	2.5点

● セーリング競技

成年男子	470級	市野直毅選手(株式会社島精機製作所)	1位	24点
		長谷川孝選手(横浜ゴムMBジャパン株式会社)		
	国体ウインドサーフィン級	尾川潤選手(株式会社島精機製作所)	1位	8点
成年女子	レーザーラジアル級	赤松里彩選手(和歌山県立医科大学2年)	6位	3点
少年男子	420級	佐伯昇選手(星林高等学校3年)	4位	15点
		高井惟吹選手(星林高等学校3年)		
	レーザーラジアル級	大竹慎勇選手(和歌山工業高等学校3年)	3位	6点
少年女子	420級	山田咲良選手(和歌山工業高等学校3年)	8位	3点
		大塚千星選手(和歌山工業高等学校3年)		
	レーザーラジアル級	赤松佑香選手(和歌山工業高等学校1年)	6位	3点

● 卓球競技

成年男子	定松祐輔選手(日鉄住金物流株式会社)	3位	16.5点
	藤村友也選手(日鉄住金物流株式会社)		
	松下海輝選手(日鉄住金物流株式会社)		



● カヌー競技					
成年男子	カヌーワイルドウォーター1500m				
		大戸文吾選手(和歌山県教育センター学びの丘)	3位	6点	
● 自転車競技					
男子	4kmチーム・パシュート				
		岡本隼選手(愛三工業株式会社)	7位	6点	
		仮屋和駿選手(日本大学1年)			
		谷彰太選手(日本大学1年)			
		石塚慶一郎選手(和歌山北高等学校3年)			
女子	チーム・スプリント				
		吉川美穂選手(Live GARDEN Bici Stelle)	2位	21点	
		布居光選手(日本競輪選手養成所)			
	スクラッチ	吉川美穂選手(Live GARDEN Bici Stelle)	3位	6点	
	ケイリン	布居光選手(日本競輪選手養成所)	5位	4点	
少年男子	スクラッチ	石塚慶一郎選手(和歌山北高等学校3年)	4位	5点	
● ボウリング競技					
少年男子	個人	坂原慎平(和歌山北高等学校3年)	1位	8点	
	団体	坂原慎平(和歌山北高等学校3年)	4位	15点	
		寺地真輝(新宮高等学校2年)			
● 馬術競技					
成年男子	六段障害飛越	藤谷喜晴選手(株式会社オークワ)	1位	7点	
● ウエイトリフティング競技					
成年男子	81kg級スナッチ	白草竜太選手(和歌山県庁)	5位	4点	
	81kg級クリーン&ジャーク	白草竜太選手(和歌山県庁)	5位	4点	
	89kg級スナッチ	植暁人選手(関西大学4年)	8位	1点	

監督・選手からのコメント

○ 阪部創選手(レスリング競技:成年男子)

今回の国体は優勝を目指していたので、優勝できて良かったです。来年も良い結果を出せるよう、また五輪出場目指して努力していきます。

○ 谷田昇大選手(レスリング競技:成年男子)

国体で初優勝でき、大変嬉しいです。室谷監督をはじめ、周囲の後押しがあったからこそその成績だと思います。今後も、和歌山県に貢献できるように頑張っていきたいです。

○ 室谷正憲監督(レスリング競技:成年男子)

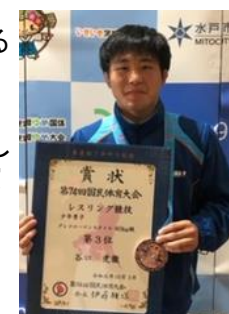
今年の成年チームは、優勝が2名、2位が1名と3名が上位入賞を果たしてくれました。優勝した2人は、最後まで諦めず頑張ってくれました。入賞できなかった選手も和歌山県のために出来ることを最大限発揮してくれました。

○ 谷口虎徹選手(レスリング競技:少年男子)

国体出場3回目、今年こそ優勝を目指していました。しかし準決勝で負けてしまい、不甲斐ない気持ちでいっぱいです。これからも日々精進していきます。

○ 森靖仁選手(レスリング競技:少年男子)

家族や先生・チームメイトの支えがとても力になりました。5位の結果はとても悔しいですが、入賞できた経験を活かして、来年の国体ではさらに活躍できる選手になりたいです。





監督・選手からのコメント

○ 森下浩監督(レスリング競技:少年男子)

フリースタイルでは、5位が2名、グレコローマンスタイルでは、3位1名、5位1名とそれぞれ入賞しました。昨年度、悔しい思いをした選手が3年生となって力を出してくれました。この流れを今後に繋げていきたいです。

○ 市野直毅選手(セーリング競技:成年男子)

国体で優勝することができて、和歌山県や島精機さんに貢献できたことがとても嬉しいです。これからもよろしくお願いたします。

○ 長谷川孝選手(セーリング競技:成年男子)

優勝することができて大変嬉しいです。和歌山県選手みんなの頑張りで競技別総合で3位に入れたことも嬉しく思います。今後とも努力を重ねて頑張っていきますのでよろしくお願いたします。

○ 尾川潤選手(セーリング競技:成年男子)

念願だった国体で優勝することができてとても嬉しいです。今年の一つの目標を叶えることができたので大変満足しています。

○ 赤松里沙選手(セーリング競技:成年女子)

成年として初めてのレーザーラジアル級への出場だったので、自分の実力が試される大会になると思っていました。もっと良い結果を残せるチャンスがあったのではという思いもありますが、入賞し和歌山県の競技別総合3位という成績に貢献することができて良かったです。今回は学ぶことの多い大会でした。この経験を今後に繋げていきたいと思ひます。

○ 中村厚子監督(セーリング競技:成年)

今回は多くの関係者の皆様に激励視察をいただきありがとうございました。チーム一丸となって、1点でも多く勝ち取ろうと闘った結果が出たと思っています。今回に満足せず常勝を目標に努力していきたいと思ひますので、引き続き応援よろしくお願いたします。

○ 佐伯昇選手(セーリング競技:少年男子)

練習で培ってきた力を十分に発揮でき、悔いのないレースができたのでとても嬉しかったです。また、指導して下さった高橋監督や、今までサポートしていただいた周りの方に感謝でいっぱいです。

○ 高井惟吹選手(セーリング競技:少年男子)

高橋監督をはじめとするお世話になった方々への恩返しのためレースに挑みました。国体という大きな大会で結果が残せ、本当に嬉しいです。

○ 大竹慎勇選手(セーリング競技:少年男子)

この結果で終わったのは、顧問の先生、先輩、後輩、高橋監督など今まで支えてくれた方々がいてくれたからだと思ひます。今までの練習の成果が出せて目標が達成できて本当に嬉しいです。

○ 山田咲良選手(セーリング競技:少年女子)

茨城国体が私たちにとって最後の大会なので、入賞を目標に頑張ってきました。途中までは思い通り行きませんでした、最後まで自分たちを信じ諦めず頑張った良かったです。このペアだからこそ3年間頑張ってきたと思ひます。このペアが大好きで本当に相手には感謝の思いが強いです。高校生最後の大きな大会で入賞という1つの結果を残すことができ本当に良かったです。

○ 大塚千星選手(セーリング競技:少年女子)

高校最後のレースで8位入賞できましたが、もう少し順位を上げたかったです。最終日のレースがなくなり悔しい思いも残りましたが、和歌山県に貢献でき嬉しかったです。また、少年チーム全員入賞できたことと、チーム和歌山が競技別総合3位という素晴らしい結果で、茨城国体を終えることができて良かったです。

○ 赤松佑香選手(セーリング競技:少年女子)

国体初出場で、6位入賞することができ嬉しいです。目標としていた3位以内を取ることができず悔しい気持ちもありますが、全力を尽くすことができたと思ひます。応援して下さった皆さんに感謝したいです。





監督・選手からのコメント

○ 高橋航監督(セーリング競技:少年)

少年チームは全員が入賞することができました。応援いただいた多くの皆様に御礼申し上げます。今回の結果をバネにさらなる躍進をしていきたいと思っておりますので、応援よろしくお願いいたします。



○ 松下海輝選手(卓球競技:成年男子)

目標としていた2年振りの優勝とはなりませんでしたが、厳しい1次リーグを通過し、福井国体に引き続き3位に入賞できて良かったです。これから続く他の全国大会でもこの調子を維持していきながら、来年の国体も3位以上を目指して頑張っていきます。



○ 杉井孝至監督(卓球競技:成年男子)

3位となりましたが、日本一を目指していたので、この結果を他の全国大会や来年の国体に繋げていけるよう頑張っていきたいです。

○ 岡本隼選手(自転車競技:男子)

予想より良い結果が出て、すごく良い気分です。試合を終えることができました。7位というギリギリの入賞でしたが、限られた時間の中で、高校生・大学生・社会人がみんなで練習できたことが良かったです。



○ 吉川美穂選手(自転車競技:女子)

チーム・スプリントでは、1位の茨城とは実力差があり勝てませんでしたが、昨年予選で負けた東京・福井に勝ち、2位に入賞することができて、とても良かったです。スクラッチは、日本代表選手が上位に入るなかで3位以上が目標でした。達成はできたものの、もっと上位に行きたかったので悔いが残ります。今回のレースの反省点を今後の試合に活かしていきたいです。

○ 布居光選手(自転車競技:女子)

チーム・スプリントは、去年は3位だったので、今年の目標は2位以上でした。予選においてベストタイムを更新し、2位に入賞することができて嬉しかったです。また、スタートでいかにタイムを縮めるかという課題もクリアできて良かったです。ケイリンの決勝戦は強豪選手ばかりで、どう戦うか悩みましたが、今年からダッシュ力を付けるためにギアを重くして練習に取り組んできたことが活き、去年に比べて力が付いてきたと成長を感じています。



○ 石塚慶一郎選手(自転車競技:少年男子)

今回のレースでは自分の思い通りの走りができ、力を十分に出し切り入賞出来たことは、とても達成感がありました。

○ 山本貴洋監督(自転車競技:少年男子)

今回の国体では、自転車競技での天皇杯7位・皇后杯2位という、予想以上の結果を収めることができました。団体種目で入賞することを目標に、男子は国体前に合同練習を重ね、女子はそれぞれの所属チームで個々にトレーニングを積み、国体に入る前に合わすことができたことが良かったです。チームでまとまって練習することで、経験のある成年選手が少年選手を引っ張り、チーム一丸となって頑張れたことが、この結果に繋がったと思います。



○ 藤谷喜晴選手(馬術競技:成年男子)

前半は、騎乗馬であるザンジバルの調子が良すぎて人馬が噛み合わず思うような結果が出せず、非常に苦しかったです。今日の最終種目では、コンビネーションが戻り、人馬一体で障害を越えることができ、本当に良かったです。

○ 大戸文吾選手兼監督(カヌー競技:成年男子)

積み重ねてきたことを試合で発揮でき、またチャンスをものにできたので国体では最高順位を収めることができました。皆さんの応援が力にもなり、プレッシャーにも感じてしまう部分もありましたが、負けないように頑張ることができました。苦しい戦いもあると思いますが、和歌山県チームの皆さんも最後まで自分を信じて頑張してほしいと思います。





監督・選手からのコメント

- 坂原慎平選手(ボウリング競技:少年男子)
少年最後の国体で個人戦と団体戦の両方で入賞できて本当に嬉しかったです。色んな方に応援してもらって結果を残せて良かったです。
- 寺地真輝選手(ボウリング競技:少年男子)
初めての国体で色々不安がありましたが坂原選手がアドバイスをくれたおかげで、いつも通りに投げられ、そのおかげで4位に入賞できたと思います。とっても嬉しかったです。
- 山口厚司監督(ボウリング競技:少年男子)
選手達が、練習の成果を発揮できたので、大変嬉しく思います。選手達に感謝しています。
- 白草竜太選手(ウエイトリフティング競技:成年男子)
スナッチで、あと1本上げることができていれば1位を狙えましたが、上げられなくて悔しいです。この悔しさをバネにし、次の大会では結果を残せるように努力していきます。
- 植暁人選手(ウエイトリフティング競技:成年男子)
2本目、3本目を失敗してしまい、悔しいですが、今日の試合の反省を活かし、今後控えている試合や来年の国体では、上位入賞を目指して頑張ります。



頑張れ!チーム和歌山!!

